

未来のために、明治安田が今できること



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特に注力する優先課題

2「大」プロジェクトを通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます
(詳細はP11-14参照)

健康寿命の延伸



地方創生の推進



健康チェック



公民館での定期講座

さらなる取組みが必要な優先課題

事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化しています

環境保全・気候変動への対応



上記以外の優先課題

- 金融包摂(金融アクセスの確保等)
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備

従業員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組んでいます

脱プラスチックの取組み

当社は、脱プラスチックの推進として、お客さまに書類をお届けする際などに使用するプラスチック製ファイルを紙製へ移行するなど、環境に配慮した素材への切り替えを行なっています。



環境に配慮した素材を使用したファイル

明治安田×Jリーグの森～未来をつむぐ森～

人々の暮らしを支え、豊かな恵みをもたらす日本の森林を未来世代につないでいくため、Jリーグとの協働で森林を再生・保全する取組みを開始しました。協働にあたっては、2023年7月に「Jリーグ気候アクションパートナー」^{※1}契約を締結しています。



職員研修の一環で森林保全活動を実施(2023年10月/神奈川県)

事業者・機関投資家双方の立場から、2050年度までにCO₂排出量ネットゼロに取り組めます

	事業者として		機関投資家として
	Scope1・2 ^{※2}	Scope3 ^{※3}	Scope1・2 ^{※4}
2021年度実績	△31%	△19%	△34%
2030年度目標	△50%	△40%	△50%
2050年度目標	△100% 排出量ネットゼロを実現		△100% 排出量ネットゼロを実現
	(2013年度比)		(2013年度比)

※1 気候変動課題の解決に貢献し、それと同時にJクラブのホームタウンをハブとして地域活性に貢献することを目標とする「Jリーグ気候アクション」に共感したパートナー(企業・団体)
 ※2 Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出
 ※3 Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、6つのカテゴリー(1、3、4、5、6、7)に限定して算出。
 カテゴリー15(投資)は機関投資家としての排出量として管理
 ※4 国内上場企業の株式・社債・融資が対象